

瞬快Rel.8.0系 対応内容一覧

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
Rel.8.0a	瞬間復元ドライバ	Windows 7 環境において、ファイルのプロパティを表示しようとする、プロパティは表示されず、以降、エクスプローラーが正常動作しなくなる場合がある。	回避ロジックを組み込みました。	【レベル】 Rel.8.0 【グレード】 全グレード 【対象OS】 Windows7	ファイルのプロパティを表示したい場合は、一時的に更新モードもしくは修復無効モードにしてください。	
	ウイルス対策ソフト連携	瞬快クライアントと Symantec Endpoint Protection 11.0 RU5 の組み合わせにおいて、ファイルのプロパティを表示しようとする、STOPエラー 0x0000007F が発生する場合がある。	回避ロジックを組み込みました。	【レベル】 Rel.8.0 【グレード】 全グレード 【対象OS】 Windows7, Windows Vista	ファイルのプロパティを表示したい場合は、一時的に更新モードもしくは修復無効モードにしてください。	
Rel.8.0g	ツール機能	機能追加	クライアントPCに対してメッセージ通知を行うコマンド「RPMMSG.EXE」をTOOLフォルダ内に新規追加しました。	【レベル】 Rel.8.0a以前 【グレード】 全グレード	なし	
	Linuxクライアント機能	機能追加	Linuxの下記ディストリビューションに対応しました。 ・Cent OS 5.5 ・Fedora 13 ・Vine Linux 5.1	【レベル】 Rel.8.0a以前 【グレード】 全グレード	なし	
	リモート画面操作機能	機能追加	クライアントPCに対して、指定したPCの画面を表示させる「画面転送機能」を新たに搭載しました。	【レベル】 Rel.8.0a以前 【グレード】 全グレード	なし	
	リモート画面操作機能	機能改善	操作対象PCを選択する画面の操作性を改善しました。	【レベル】 Rel.8.0a以前 【グレード】 全グレード	なし	
	リモート画面操作機能	機能改善	単一PC操作の操作メニューのウィンドウの形式を、バー表示も選択できるように改善しました。	【レベル】 Rel.8.0a以前 【グレード】 全グレード	なし	
	瞬間復元ドライバ	Windows VistaのInternet ExplorerからEPSON社製のレーザープリンタに対し印刷を行うと、印刷ができない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.8.0a以前 【グレード】 全グレード	以下のいずれかを行うことで回避可能です。 ・C:\ProgramData\EPSON\tempを対象外にする ・UACを無効にする ・Internet Explorerの保護モードを無効にする	
	瞬間復元ドライバ	インテル社のAtomプロセッサを搭載したPCに瞬快をパーティション単位の修復モードでインストールすると、OSの起動前に黒い画面で数十秒から1分程度待たされる現象が発生する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.8.0a以前 【グレード】 全グレード	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントをファイルフォルダ単位の修復モードでインストールすると、Cygwinが正常に動作しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.8.0a以前 【グレード】 全グレード	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントをファイルフォルダ単位の修復モードでインストールした場合、PCのシャットダウン時に0x7eのブルースクリーンが発生する場合がある。	回避ロジックを組み込みました。	【レベル】 Rel.8.0a以前 【グレード】 全グレード	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントをファイルフォルダ単位の修復モードでインストールした場合、DisplayLink社のドライバを使用したUSBディスプレイアダプタが正常に動作しない場合がある。 【製品例】 ・IO-DATA製 USB-RGB/D2 ・パップアロー製 GX-DVI/U2	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.8.0a以前 【グレード】 全グレード	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントをファイルフォルダ単位の修復モードでインストールしたPCから、別のPCで共有されているフォルダ内のファイルが変名できない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.8.0a以前 【グレード】 全グレード	なし	
	瞬間復元ドライバ	Windows7にてdiskpartコマンドを実行したPCに瞬快クライアントをインストールすると、ディスク上のファイルが壊れる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.8.0a以前 【グレード】 全グレード	復元タイプにパーティション単位を使わない、または更新モードを使わない場合には発生しません。	
	クライアント機能	瞬快クライアントのレベルアップを行うと、作成していた省電力ポリシーは全て削除されてしまい、「バランス」の設定に戻ってしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.8.0a以前 【グレード】 全グレード	なし	
	クライアント機能	瞬快クライアントをインストールしたPCにおいて、グループポリシーの設定で「電源の管理」に関する項目が「有効」にされていると、修復モードに変更できず「クライアントが認識できないエラーが発生しました。」というエラーが発生する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.8.0a以前 【グレード】 全グレード	なし	
クライアント機能	瞬快クライアントをインストールしたPCをシャットダウンするタイミングで、Syunkai Clientのサービスがアプリケーションエラーを出す場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.8.0a以前 【グレード】 全グレード	なし		
クライアント機能	Windowsの電源設定の設定内容を、デフォルト設定から変更している場合に、瞬快クライアントをインストールするとデフォルト設定に戻ってしまう。 (例:「高パフォーマンス」に設定変更していても、「バランス」に戻ってしまう)	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.8.0a以前 【グレード】 全グレード	なし		

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	WindowsUpdate連携機能	Windows Update連携を実行するクライアントPCにおいて、Automatic UpdateサービスまたはWindows Updateサービスの起動に20秒以上の時間を要する環境の場合にエラーが発生し、Windows Update連携の処理が失敗する場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.8.0a以前 【グレード】 全グレード	なし	
	資源配付機能	配付リソースの登録にてショートカットファイルを指定して登録すると、ショートカットのリンク先のファイルが登録されてしまい、ショートカットファイル自体が登録できない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.8.0a以前 【グレード】 並+資源OP 上+資源OP 特上	なし	
	利用情報収集機能	集計した操作時間の合計が、クライアント単位の場合とグループ単位の場合で一致しない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.8.0a以前 【グレード】 全グレード	なし	
	利用情報収集機能	クライアントPCからの情報がサーバにまったくアップロードできない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.8.0a以前 【グレード】 全グレード	なし	
	利用情報収集機能	瞬快クライアントのレベルアップ、バージョンアップを行うと、利用情報収集機能で取得しているPCの起動時刻/終了時刻の情報が取得できなくなる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.8.0a以前 【グレード】 全グレード	なし	
	利用情報収集機能	イベント削除処理において、削除対象の件数が10万件以上になるとイベント削除に失敗する場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.8.0a以前 【グレード】 全グレード	なし	
	利用情報収集機能	集計処理に失敗する場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.8.0a以前 【グレード】 全グレード	なし	
	システムリカバリ機能	FMV-D5390のディスクイメージ取得/配信ができない。	FMV-D5390用のLANドライバを製品に組み込みました。	【レベル】 Rel.8.0a以前 【グレード】 上 上+資源OP 特上	なし	
	システムリカバリ機能	Windows環境の設定や、イメージ配信の後処理でクライアント側の処理が停止する場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.8.0a以前 【グレード】 上 上+資源OP 特上	なし	
Rel.8.0i	リモート画面操作機能	機能追加	Intel® vPro™のKVM機能を利用したリモートコントロールアプリケーションを搭載しました。	【レベル】 Rel.8.0g以前 【グレード】 全グレード		詳細は製品CD-ROM内のTOOLYKVMフォルダ内にあるPDFを参照ください
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダの修復モードでインストールされたPCで、次のブルースクリーンが発生する場合があります。 0x0000007f 0x00000050	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.8.0g以前 【グレード】 全グレード	なし	
	リモート画面操作機能	デュアルディスプレイのPCをリモート画面操作機能を使ってモニタリングや遠隔操作を行うおとした場合、2台のディスプレイの解像度が異なると、画面崩れたりマウスでの操作が正しく行えない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.8.0g以前 【グレード】 全グレード	デュアルディスプレイのPCをモニタリングや遠隔操作を行う場合は、2台のディスプレイの解像度を合わせてください。	デュアルディスプレイのPCをモニタリングや遠隔操作を行う場合、対象となるのは、プライマリディスプレイのみです。プライマリではないディスプレイは対象外です。
	リモート画面操作機能	リモート画面操作機能の複数PC操作にて、メインモニタウィンドウからマウスカーソルが外に出られなくなる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.8.0g以前 【グレード】 全グレード	複数PC操作の接続を切断して、再接続を行ってください。	
	リモート画面操作機能	リモート画面操作クライアントをインストールしたPCを、ログオンした状態で数週間連続で稼働させた場合に、システムリソース不足が発生し、OSの再起動が必要となる場合がある	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.8.0g以前 【グレード】 全グレード 【対象OS】 Windows XP Windows Server 2003	定期的にログオフをすると問題は発生しません。	
	WindowsUpdate連携機能	Windows Update連携機能において「更新プログラムを構成しています(1/3)」のメッセージが表示されてOSが再起動を繰り返す現象が発生する場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.8.0g以前 【グレード】 全グレード 【対象OS】 Windows 7 Windows Vista	現象が発生してしまった場合には、OS起動時にPageUpキーを押して簡易環境設定画面を表示させ、修復無効モードへ切り替えを行うことで、再起動を止めることができます。	
	WindowsUpdate連携機能	OSの持つWindows Updateサービスの開始に20秒以上を要するPCで、Windows Update連携機能を実行すると「予測不可能なエラーが発生しました。(Error Code = 174)」のエラーにて失敗する場合があります。	OSの持つWindows Updateサービスの開始が遅い場合を考慮したロジックに修正しました。	【レベル】 Rel.8.0g以前 【グレード】 全グレード	なし	
	システムリカバリ機能	瞬快管理機能起動時に問われる、システムリカバリサーバへ接続する際の認証ダイアログで、ユーザ名やパスワードに入力できる文字数が少ないため、認証できない場合がある。	最大入力文字数を拡張しました。 ・ユーザ名→256文字 ・パスワード→128文字	【レベル】 Rel.8.0g以前 【グレード】 上 上+資源OP 特上	システムリカバリユーザのアカウント名とパスワードを短くしてください。	

瞬快Rel.8.0系 対応内容一覧

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	システムリカバリ機能	システムリカバリ機能で作成したイメージ配信サービスの名前を変更して配信を行うと、「指定したファイルが見つかりませんでした。」というエラーが発生する場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.8.0g以前 【グレード】 上 上+資源OP 特上	ユーザ指定処理が無いサービスであれば問題は発生しません。	